

医療職専門派遣事業研修会 9月21日

今回は奈良教育大学教授の全有耳先生に來校していただき、主に経験5年目までの職員を対象に、「指導や支援に活かすティーチャー・トレーニングの理論と実践」の題目で講義をしていただきました。

ペアレント・トレーニングの歴史や、ティーチャー・トレーニングについての基礎的な知識や実践内容をお話ししていただき、非常に有意義な時間となりました。

子どもの行動が改善される5つのポイントなど、具体的にどういった視点で子どもを捉え、どういった対応をしていけばよいのか、日々の実践にすぐに活かすことのできる内容でした。

5つのポイント

- ① いきなり高望みは禁物
- ② 子どもの行動をよく観察する
- ③ 今できることから、一段一段ステップを踏んで確実に＝スモールステップで
- ④ 子どもの発達の特性にあわせて環境を調整する
- ⑤ 一貫性のある対応



<研修会後のアンケートより>



子どもをほめるとき、具体的に「行動」をほめることを意識したいです。



子どもの行動の前後の状況をよく見るということを意識したいです。



好ましい行動になるように環境を整えるという視点をもつことも大切だと改めて感じました。